

警報時報

石城郡平野町四丁目
印刷所 印刷部
電話 四九二二
代印 印刷部
電話 四九二二
電話 四九二二
電話 四九二二

内務部長歓迎會 席上石城郡を禮讚

昨夜住吉屋本店に於て

伊藤内務部長の歓迎會は九日午の筈で同町では同日午後六時か
後七時から平町住吉屋本店に開新米旅館で歓迎の宴を催はす
いたが、突然の催はしにも拘は事になつたが、一行左の如し。
らず出席者四十名、伏見平町
長挨拶をのべ、伊藤内務部長は
次の如く感想を述べた。

寂れ方

石城の海水浴場

盛夏八月の上では土用も明け
たといふのに打ち續く變体的な
天候から一年の書き入れ時として
準備した海水浴場石城郡四倉、
小名濱、豊間、勿来、双葉郡久
之瀨等では十数年來かつてない
程のさびしさ、殊に去月末の沿

農民は漸やく 凶作を憂慮し始む

嘗てない土用中の天候

今年の土用は梅雨期の再来と
も言ふべき天候続きで、各海
水浴場の淋しきは未だしも凶
作説さへ傳へられるに至り石
城郡地方の各農家は俄かに稻
作について憂慮し出したが今
年の土用について小名濱測候
所の発表によると、土用二十
日間を通じての平均温度は二

大審院判檢事 騷擾事件の檢証

八日以來來郡の上取調中

大審院判事西郷陽、久保久、同以上判檢事は實地檢證のため八
日以來來郡の上取調中
大審院判事西郷陽、久保久、同以上判檢事は實地檢證のため八
日以來來郡の上取調中
大審院判事西郷陽、久保久、同以上判檢事は實地檢證のため八
日以來來郡の上取調中

小名濱町で 内務部長歓迎會

伊藤内務部長は十日四倉町を視
察し豊間、江名を経て小名濱町
宮城控訴院に於て騷擾罪として
に至り新米旅館に投宿する筈で
有罪の判決を言渡されたが、そ
のうちに被告十四名は判決に不服
を唱へ大審院に上告したので、
同町では午後七時から盛大な歡
迎會を催はす事になつた。

若い人の血を湧かす 鐵道現業委員選舉

數名早くも名乗りをあげ

平野關係鐵道現業委員の選舉は即四名名乗りを揚げ驛では平、
來る二十三日執行するが今年が赤井、小川郡で二名の所へ有權
に満十八歳以上は女子でも選舉者百八十九名で未だ名乗りを揚
権があり猛烈に先づ第一に平機がぬが檢車所、車掌等野心家多
關庫では有權者三百五十九名、く入れられての混戦となる模様
定員三名の所へ早くも大村七郎、若き現業員達の血を湧かし
箱崎昇吾、白土長一、大柴峰次である。

村を追はる 外山生

(その十三)

かつての青二才青年は世間並
の所謂農事改良上のお話をして
することに於て豫定されて
るが、併しあまりに前の話に
刺戟されては、大膽に
も俄かに組み、左の方角轉
換を行つて前者の論旨を覆し
はじめた、そして曰く、物質
文明の發達に伴ふ資本主義、
業組織の合理化は遂に農家の
手工業を奪ひ去つた、農人が
各々猫額の大耕地をもつて如

養蠶同業 技術員會

石城郡養蠶同業組合技術員會は 十日午前十時から平町元石城郡 役所に開き左の件を協議した。

植田電氣の 社債應募良好

石城郡那地方の經濟界は不振の なくしてはならない、更生の農 村を創造せよ、王風して働け て遊べ、樂しむ爲めに仕 事を勵め、社會人としての生 活に我等の生活を併せしめ て、隣人を愛せ、そして共に 起つて、若き君は弱き彼女をた すけて進め、純真なる貴女をた すけて、協力は力である、賤 力せよ、協力は力である、賤 の乙女の髪の一筋はやがて大 船を繋ぎ止める索ではなかつ たか、疲れたる農村を赤き血 もて形れ、そして我等の農村 を蘇らせよ、先代の造つた農 村はいざ知らず少くとも次代

自動車事故 嚴重に處罰

猪狩平署長談

石城地方に於て最近自動車事故
が頻發してゐるが、猪狩平署長
は語る。
「自動車事故の頻發は全く遺憾
な事である、殊に過失が非常
に多いから困る、今後は
不可抗力による事故は別とし
て注意をすれば未然に防止
し得る事故を起した場合は運
轉手の免許を取り消すか嚴重
な處置をとり事故の頻發を防
止する考である」

中にも一道の光明を放ち有資産
家筋の放蕩は稍緩慢なる推移を
呈して堅實なる事業もあらばこ
その投資方面に慎重なる研究を
行はれつゝある程で余裕を見せ
てゐるがこれが反映しては去
る大正十四年社債を起してこれ
が借換をなすべく来る十五日ま
でに締切の植田電氣株式會社の
社債募集の如きその事業の世襲
的にして且經營の堅實に鑑がみ
頗る成績良好にして財界不況の
何れにあるやを疑はしめてゐる
程である。

平演武場で 柔道講習會

昇段審査
平演武場守次氏を會長とする警
城講道館有段者會では例年の如
く十一月から十七日まで七日間
毎日午後七時より九時まで平演
武場演武場に於て夏期柔道講習
會を開く事になつたが、講師は
橋本芳太郎、岡田朝五郎、青天
目源一郎各氏で、十九日には成
績を審査し昇段者を決定する由

百〇一歳で 毎日野仕事

今秋の御大典に光榮の賜を
受くべき高齢者中石城郡内に
て最高齢の勿來町關田の山石
ツル百一歳を訪問するに、
今日は畑へ草むしりに出かけ
ましたと二女のすみ(八五)さ
んが言ふ、案内を求めて畑に
行つて見た、もう長生ををし
てゐるので、また見せものに
なるのですか、なんぞと至つ
て達者な皮肉ぶり、ばあさん
のつれあいであつた平十郎さ
んは明治二十二年になくなつ
たとの事、お子さんはと聞く
と龜吉(七五)さんの下におス
ミさん、おもん(五七)さんの
三人兄妹あるだけでこの三人
はまた珍らしくもかつて妻帯
した事も夫を持つた事もない
と言ふ變つた兄妹達ばかりで
ツル嬢は今度でこの様なお喜
びに三度廻りあひますと耳も
目も至つて達者で記者に愛嬌
をふりまいてゐた。

▲上遠野の火事

石城
郡上遠野村字河原大平好一方か
ら八日正午發火住宅一棟の外脱
舎、物置きの二棟を全焼したが
原因、損害取調中。

た信愛下さる一の井洋食謝恩デー

八月十日ヨリ三十一日マデ三ヶ月間三回抽籤
抽籤方法 毎月廿五日切 警新、常警、時報記者
立會の上抽籤 廿八日右三新聞紙上發表
高級一品 洋式宴會仕出し
洋食 毎に **お買上券一枚進呈**

景品
一等 二本 美
二等 三本 美
三等 五本 美
四等 十本 山
五等 三十本 山
一の井
平演武場電話一六七

外科新設

内臓外科 専門 藤本 順
一般外科 部長 藤本 順
平町新川町
木村新川町
院長 木村寅次郎
電話一六四番

内科 科、小兒科 入院應需
花柳科

藤沼醫院

平町新川町
電話三五〇七番

學生服

厚本霜降小倉 圓ヨリ
小學生向 金壹圓四十五錢マデ
中學生向 金貳圓四十錢ヨリ
なかや洋服店
平一丁目(電話二〇三)

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒 **粟守酒**
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店 **大平屋薬店**
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六三二)

初音

四倉海岸
一、例年の通り四倉海水浴場に出張
所設けましたから是非一度御立
寄り下さい。
一、團體の際は、大勉強御相談に應
じます。
一、無料脱衣場の設備もあります。
平町新田町
電話二二六番

ツルヤ洋品店の 夏の子供服陳列會

イタツラ着 三十錢より
ポイル服 一圓四十錢より
富士絹服 二圓より
御自由御覽になられる様店內に陳列
特に御勉め品霜降學生服
壹號 一圓十錢
貳號 一圓十錢
參號 九角十錢
平町四丁目
電話一〇四番

耳鼻咽喉科

平町仲田町七一
新築場所 **合津醫院**
電話五五番

例年の通り 夏期謝恩大興行(第三週目)

◆日活超作品 ◆原作前原武志、監督中山春舟
桂武男・久米謙・磯川元春・櫻木梅子・瀨川銀潮・吉成照子
◆日活現代派超作品 ◆原作清水龍之助 監督三枝源次郎
南光明・大崎史郎、築地浪子
◆日活超作映畫 ◆原作青木優 ◆監督中山春舟
松本泰輔・澤村春子・金子弘・中村英雄・屋上卯多五郎
◆日活超作映畫 ◆原作三吉は祖父を殺した溝呂木を父とし、又幼児
を採る門付女と新十郎……泰輔の眞價此一篇に現る
◆改定料金◆普通席金十錢 八月九日寫眞差替
學生デ！ 映高 畫級 平 館電六四

鳥料理

蒲焼 榮
平町南町
電話四二四番

十日の特映映畫週間

帝キキ作品 現代劇
手折られ撫子
里見明、八島京子 共演
▲大帝キキ運超特作
怪兒 及 第貳
市川百々之助一人三役
恐怖の京洛篇
▲マキノ超特作
總指揮マキノ省三
裏切る足音
嵐長三郎、玉本悦子共演
少女俱樂部連載
原作吉川英二氏 發端篇
ひよどり草紙
マキノ梅太郎、岡島麗子共演
土曜 有聲座
學生デ！

驚いた!!!

こころまで安いのは
平・加納活版所の印刷

共ニ存共ニ榮
融至ノ易簡
蓄貯ノ味趣
堅ト意識

高久病院

院長 高久 忠
平町 電話一三五